２０２６年1月９日
イ オ ン 株 式 会 社

株式会社クスリのアオキホールディングスとの資本業務提携の解約について

当社は、株式会社クスリのアオキホールディングス（以下「アオキ」）と２００３年１月２２日に締結した資本業務提携の覚書（以下「本覚書」）を、本日付で解約しました。

当社は、アオキが、当社及び他のドラッグストアとの大同団結をも視野に、一層緊密な協力関係を構築することを目的とした本覚書に基づき、アオキと資本提携及び業務提携（以下「本資本業務提携」）を継続してまいりました。

今般、当社はツルハホールディングス株式会社（以下「ツルハ」）を連結子会社化することとなりました。従前、ツルハもアオキ株式を約５％保有しており、ツルハの連結子会社化により、当社グループのアオキに対する議決権比率が約１５％になり、アオキを当社の持分法適用会社として会計処理することとなります。このことは、本資本業務提携の精神に反するものではありません。しかし、アオキは、当社の持分法適用会社となることを嫌い、当社の派遣取締役の辞任及び当社グループが保有する議決権比率を下げるよう、一方的に当社に対し、提案、要求しました。

アオキは、２０２５年１２月２５日、「東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更申請及び名古屋証券取引所メイン市場への新規上場申請」を公表しております。これは、多くの株主に重大な影響を与えるおそれのあるものであり、重大な説明責任が求められます。また、同日、アオキは「臨時株主総会招集のための基準日設定」を公表していますが、付議予定の議案内容を明らかにしないまま基準日設定のみ決定、開示しており、臨時株主総会を開催する目的の株主への説明が不足しております。

こうしたアオキのガバナンスに対する姿勢が変わらないことが明らかとなり、当社の理念、企業としての社会的責任及び透明性のある経営という考えとは相いれないものと当社は認識いたしました。アオキと本資本業務提携を継続することは、当社及び当社株主にとってリスクであり、当社の経営理念と反することから、本資本業務提携を解約いたしました。

本資本業務提携の解約により、当社は、ドラッグストア戦略を進めるうえであらゆる選択肢を持つとともに、アオキの大株主としての責任を果たしてまいります。

以　上